

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		情報ビジネス学科/2年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	黒田 洋平
授業の概要				
就職活動を控え、これから、社会人になるにあたって、必要なスキルを身につける 3KAN教育の後半として、就職活動を通して社会人に必要なスキルを身につける				
授業終了時の到達目標				
1. 3KAN教育(1.自己効力感 2.成長実感 3.学び続ける習慣)により企業が求める人材を育成する 2.基礎学力、専門知識を将来社会において発揮することができるための汎用的能力の育成 3.目標を設定し管理することによって、自己成長を実感させ、将来設計ができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて、就職のしおりに目を通す				
回	テーマ	内容		
1	企業訪問/就職試験について/ 企業が欲しい人材/自己分析	企業が求める人材の理解と自分を理解する		
2	グループディスカッション・ワーク	ディスカッション(インバケット思考) ~聴く力をつけ、いい質問をする~ 1. グループワーク 2. Win-Winの関係		
3	就職や社会におけるSNSの活用 ・SNSを就職活動に役立てる方法と 注意点について理解する ・SNSが扱う個人情報や社会でどう 関わっているのかを、法律的な観点 から理解する ・「著作権」や「肖像権」への意識 を高める。 ・SNSやWeb上で写真や動画を扱う際 の注意点を理解する	1. SNSとはどのようなものか 2. SNSを利用した就職活動の方法例 3. SNSの利用を誤った場合の失敗例 (後半) ・著作権とは? ・肖像権とは? ・SNSへ画像や動画を投稿する際の注意点		
4	就職活動の確認	企業研究、求人確認等		
5	新聞を通して、情報の入手の仕方 や、新聞の読み方を学ぶ	①仕事に必要な基礎能力とは ②基礎能力向上に新聞がなぜ役立つか ③新聞と他メディアの違い ④慣れない新聞の読み方 ⑤1日10分で基礎能力のトレーニングになる新聞の使い方		
6	就職活動の確認	各自の活動状況を確認し、企業研修、会社訪問の設定等		

回	テーマ	内容		
7	社会に出た際に必要となる知識を学び理解する（働くことの基礎知識～労働・給与・税金～）	給与計算の基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 給与に関する法律 ・ 給与支払いの5原則 ・ 給与明細の見方 ・ 残業時間の計算 ・ 法定労働時間と変形労働時間制 ・ 残業時間を計算する ・ 時間外労働の割増率 ・ 税金について 		
8	社会人と学生の違いを理解する	社会人になるということ 学生と社会人の違い		
9～ 15	就職活動実践	就職活動・フォロー		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
就職の手引き		出席率	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
デザインワークⅢ		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	永田 広志
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・デザインという論理的思考で課題を整理、解決することを目指す。 ・CIの概念を意識したブランディング力により卒業制作等に活用できるようにする。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題を論理的に把握、解決するディレクション(監督)の目線の習得 				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 2	授業概要	オリエンテーション		
3~ 4	授業概要	オリエンテーションおよび課題説明: 課題1「他己紹介」プレゼンテーションおよび講評		
5~ 6	付加価値	課題説明: 課題2「付加価値の考察」 チームワーク		
7~ 8	付加価値	課題2「付加価値の考察」プレゼンテーション及び講評 課題説明: 課題3「デザインとは」		
9~ 10	デザインについて	レポート作成および確認		
11~ 12	デザインについて	課題3「デザインとは」プレゼンテーション及び講評		
13~ 14	色々な色	課題説明: 課題4「100色の赤」 チームワーク		
15~ 16	色々な色	レポート作成および確認		
17~ 18	色々な色	課題4「100色の赤」プレゼンテーション及び講評		
19~ 20	書体	課題説明: 課題5「100書体」 チームワーク		
21~ 22	書体	レポート作成および確認		
23~ 24	書体	課題4「100書体」プレゼンテーション及び講評		
25~ 26	物体	課題説明: 課題6「100のオリジナリティー」 チームワーク		
27~ 28	物体	レポート作成および確認		

回	テーマ	内容		
29～ 30	物体	課題6「100のオリジナリティー」プレゼンテーション及び講評。前期最終講評		
31～ 32	空間1	課題説明：課題7「100の間取り」 チームワーク		
33～ 34	空間1	レポート作成および確認		
35～ 36	空間1	課題7「100の間取り」プレゼンテーション及び講評		
37～ 38	空間2	課題説明：課題8「100のリノベーション」 チームワーク		
39～ 40	空間2	レポート作成および確認		
41～ 42	空間2	課題8「100のリノベーション」プレゼンテーション及び講評		
43～ 44	アート	レポート作成および確認		
45	プレゼン	課題9「100作品探索」プレゼンテーション及び講評		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 課題・レポート	40.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジュアル表現 I		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	武市 理恵
授業の概要				
世界的に有名な画家、またはその代表名画をテーマに視覚的な作品を作る				
授業終了時の到達目標				
画家や名画を研究・再構築することを通して歴史的背景と価値を解釈することができる				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて、事前準備を行う。				
回	テーマ	内容		
1	授業内容確認	ビジュアル表現とは。前期授業の内容を確認する		
2	名画について	名画を研究する		
3	画家について	画家について研究する 作者の出生について。どのような時代に育ったか、作風の変化、性格など		
4	制作のヒント	どのように作るか考える 敬意・尊敬の気持ちを忘れずに作る		
5~ 28	世界的に有名な画家や代表作品を テーマに作品を作る	ピカソの人生を動画にする		
29	スケジュール	授業の最初に今日の作業目標を立てる 毎回制作日誌をつける		
30	作品発表	それぞれの作品を発表		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価	40.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
webデザイン応用Ⅱ		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	高橋 勇雄
授業の概要				
デジタルコンテンツの企画・制作				
授業終了時の到達目標				
Webサイトの制作およびプレゼンテーションができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~9	プレゼンテーションに向けた制	Adobe XDなどを使用し、コンテンツのモックアップを制作、プレゼンテーションに利用できる。		
10~15	企画したデジタルコンテンツの発表を行う	プレゼンツールとモックアップを使用し、企画やコンテンツの意図、期待効果を明確に伝えることができる。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価 課題・レポート	20.0% 30.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
webデザイン実務Ⅱ		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	高橋 勇雄
授業の概要				
デジタルコンテンツの企画・制作				
授業終了時の到達目標				
クライアントの意図に沿ったコンテンツを立ち上げることができる				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~9	デジタルコンテンツ立案	デジタルコンテンツの企画を立案し、クライアントの意図に沿ったコンテンツ企画ができる		
10~15	企画をまとめる	企画の輪郭を明確にまとめる クライアントの意図に基づく企画を何度も練り直すことで、よりニーズに合ったコンテンツとして設定できる。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 課題・レポート 確認テスト	20.0% 30.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動画制作演習Ⅱ		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	黒田 洋平
授業の概要				
動画編集ソフトAdobe After Effectsを使用してより高いレベルの動画編集を行う				
授業終了時の到達目標				
After Effects をPremiere Pro と併用してエフェクト付きの動画を作成する 動画コンペで入賞する				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
様々な動画媒体を注意深く観察する。気になったものがあればAfter Effectsを使用して制作を行う				
回	テーマ	内容		
1	Adobe After Effectsのインストール 基本操作画面の説明	After Effectsのインストールと初期設定 各レイヤーやウィンドの基本位置の説明		
2	Premiere Proとの連動について プリセットやFr設定について	Premiere Proとの関連性や使いこなし方についての説明 フレームの概念に関しての説明		
3	PSDデータとaiデータの取り扱いについて 連番ファイルの読み込みと解像度	他ソフトのデータを読み込む際と読み込んでからの取り扱いについての説明		
4~ 6	テキストアニメーションの作成	自分の好きなテロップを自由に動かす キーフレームの操作を行い位置を細かく調節する		
7~ 8	オリジナル文字の書き出し 操作の復習	完成したテキストアニメーションのプロジェクトファイル を書き出す		
9~ 10	モーションプラーについて ノイズ処理に関して	モーションプラーを使用して素材にブレを追加する		
11	文字にエフェクトを適用する	応用編。テキスト技術とモーションプラー技術を応用する		
12~ 13	メタリックなテロップ	機械的な見た目のテロップを作成し動かす		
14~ 17	3Dレイヤーの作成	3Dレイヤーを使用して奥行きのある動画を作成する		
18	ペンツールとマスクツールの使用方法	ペンツールとマスクツールを使用して素材の加算・減産 を行う		
19	レイヤーの描画モード調整	適切な描画モードを使用する		
20~ 21	文字マスク・背景マスクの作成	文字で背景を中抜きを行う		
22	カメラの角度変更	カメラの角度を変更して立体的に演出をする		

回	テーマ	内 容		
23～ 24	パーティクルの使用	パーティクル(光の粒子エフェクト)を適用する		
25～ 30	産学連携作品の制作	警察もしくは郵便局から依頼のあった動画を制作		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
一気にビギナー卒業！ 動画でわかるAfter Effects教室		出席率 課題・レポート 実習・実技評価	30.0% 50.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
DTP実務		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	黒田 洋平
授業の概要				
DTP(卓上出版)についての知識を深め、実践する。 実際にプリンターを使用して印刷の練習をする。				
授業終了時の到達目標				
印刷物を完成させてプレゼンを行う 連動して就活用ポートフォリオの質を高める				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
就職活動に使用するポートフォリオに掲載する作品の作成・選別・印刷を行う				
回	テーマ	内容		
1	DTPについての復習と準備	前年度学習内容の復習 InDesignソフトのインストールと説明		
2~ 7	ポートフォリオの作成	ポートフォリオの内容確認 ポートフォリオの記載書類の改善・変更・修正		
8~ 12	ポートフォリオの講評	作成したポートフォリオのプレゼントと添削		
13~ 17	産学連携作品の制作	産学連携で制作する作品のコンセプトを決める		
18	打ち合わせ予定	今後入ってくる新たなコンテストの打ち合わせ		
19	制作のチーム分け チーム内での話し合い	コンテストのチーム分けと今後の話し合い		
20~ 24	コンテスト用作品の制作	コンテストに出展する作品の制作を行う		
25	プレゼン	完成した産学連携作品のプレゼン		
26~ 27	ガイダンス	これまでの制作や今後の制作に関して生徒1人1人とガイダンスを行う		
28	打ち合わせ	毎年行っている地域自治体との動画コンテストの打ち合わせ		
29	撮影説明と意見交換	動画撮影の注意事項の伝達 撮影予定表の紹介と添削		
30	撮影スケジュール表の完成	撮影スケジュール表を完成させて先方に送る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
パワーデザイン トレース&模写で学ぶ デザインのドリル		出席率 課題・レポート	40.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジネス実務		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	松村 雅史
授業の概要				
1. ビジネスとコミュニケーションの基本 2. 仕事の実践とビジネスツール 3. 社会常識				
授業終了時の到達目標				
社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び、社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力を習得する。				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
社会情勢に関心をもち、新聞などを読む。				
回	テーマ	内容		
1	期待される社会人・職業人を目指して	<ul style="list-style-type: none"> 期待される社会人・職業人とは 働く意義を考える 就職先を決めるためにも考え、行動する 学生時代に身につけておくこと 		
2	キャリアと仕事へのアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> 働く意識 仕事への取り組み方 会社の基本とルール 		
3	仕事の基本となる8つの意識	<ul style="list-style-type: none"> 8つの意識 顧客意識 品質意識、納期意識、時間意識 目標意識、協調意識 改善意識、コスト意識 		
4	コミュニケーションとビジネスマナーの基本	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの基本 円滑なコミュニケーションのために コミュニケーションを支えるビジネスマナー 社会人としての身だしなみ 感じのよい挨拶 おじぎの基本 工作中的態度と健康管理 入社から退社までと休暇の基本ルール 		
5	指示の受け方と報告、連絡、相談	<ul style="list-style-type: none"> 指示を受けるポイント 報告・連絡の仕方 連絡・相談の仕方と忠告の受け方 		
6	話し方と聞き方のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスにふさわしい話し方 ビジネスの場にふさわしいことばづかい 敬語の種類と必要性 尊敬語と謙譲語のつかい方 聞き方の基本 		
7	来客応対と訪問の基本マナー	<ul style="list-style-type: none"> 来客応対の基本 来客応対の流れ 面談の基本マナー 名刺交換と紹介の仕方 訪問の基本マナー 		

回	テーマ	内 容		
8	仕事への取り組み方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事は正確かつ計画的に ・ 定型業務・非定型業務とマニュアル ・ 効率的・合理的な仕事の進め方 ・ スケジュール管理と情報整理 ・ パソコンは仕事の基本 ・ 電子メール(Eメール)の活用 		
9	ビジネス文書の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネス文書の役割と書き方 ・ ビジネス文書の種類 ・ 社内文書の種類と作成例 ・ 社外文書の種類と作成例 ・ 社外文書の出し方とわかりやすい文章の基本 ・ 電子メール(Eメール)の書き方 		
10	ビジネス文書の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネス文書の役割と書き方 ・ ビジネス文書の種類 ・ 社内文書の種類と作成例 ・ 社外文書の種類と作成例 ・ 社外文書の出し方とわかりやすい文章の基本 ・ 電子メール(Eメール)の書き方 		
11	社会常識	漢字の「読み」「書き」 社会人の基礎としての漢字 類義語と対義語 同音異義語と同訓異字語		
12	社会常識	四字熟語とことわざ・慣用句 四字熟語 ことわざ・慣用句		
13	社会常識	日本語化とするカタカナ用語 カタカナ用語 各都道府県に関連する基本情報 都道府県名、各県庁所在地、主要な地名・観光地・ 特産物・祭りなど		
14	社会常識	世界の国名名と首都 主要国と首都 社会常識としての欧文略語 欧文略語		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
配布プリント等		課題・レポート 出席率	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
デザインワークⅣ		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	永田 広志
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・デザインという論理的思考で課題を整理、解決することを目指す。 ・ビジネスを意識したデザイン力により卒業制作等に应用できるようにする。 ・AIについて概論的知識を習得する。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題を論理的に把握、解決するディレクション(監督)の目線の習得 				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	ブランディングとは	ブランディングについての講義		
2~ 3	ブランディング事例リサーチ	各単語毎のリサーチとともに過去事例の洗い出し		
4~ 5	ブランディングの「過去、現在、未来」	時代とともに移り変わる概念の把握		
6~ 11	ブランディング実践1	「GD学科のブランディング」		
12~ 17	ブランディング実践2	「穴吹カレッジのブランディング」		
18~ 23	ブランディング実践3	「徳島のブランディング」		
24~ 29	ブランディング実践4	「日本のブランディング」		
30~ 35	ブランディング実践5	「起業体験」		
36~ 41	ブランディング実践6	「社会貢献」		
42~ 43	ブランディング実践7	「卒業制作」		
44~ 45	まとめ	卒業制作におけるCIの必要性 卒業後、社会におけるCIの重要性		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 課題・レポート	20.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジュアル表現Ⅱ		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	武市 理恵
授業の概要				
最終日に個展を開催する(そのための企画・作品制作・装飾物などを準備する)				
授業終了時の到達目標				
個展開催のためのテーマを設定しテーマに沿った「自分らしい・自分にしかできない」作品を作ることができる 企画を立ててスケジュールを組み、計画通りに実行ができる				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 3	個展の企画	「私」をテーマに個展を開催するにあたり計画を立てる どのように「私」を表現すれば良いのかを考える		
4~ 6	個展のための準備	スケジュールを作る、ラフ画の作成、資料収集		
7~ 23	個展のための作品づくり	制作 デジタル、アナログ平面、立体、手工芸、映像など様々な 媒体を用いて制作		
24~ 28	装飾品の制作・PR活動	展示する時の見え方と見せ方を考える 作品を飾る・演出するための備品を準備する		
29~ 30	個展の開催	展示・鑑賞会(プレゼンテーション)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 実習・実技評価	40.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
DTP応用		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	黒田 洋平
授業の概要				
各種コンペの応募作品を作成する DTPに関する知識を深めるため実際に印刷を行ってデータの仕上がりを見比べる				
授業終了時の到達目標				
コンペの応募作品をそれぞれ完成させる 学校から与えられた課題以外にも時間を見つけてコンペに自主的に参加する				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
必要に応じてコンペ申し込み用の作品の作成・予習を行う。				
回	テーマ	内容		
1~ 10	クリエイターズフェスティバルのポスター作成	年度末に行うクリエイターズフェスティバルのポスターやダイレクトメールのデザイン・制作を行う		
11~ 20	産学連携作品の制作	産学連携で依頼を受けたポスターやハガキなどのデザインを行う		
21~ 30	クリエイターズフェスティバルの展示物制作	クリエイターズフェスティバルの展示物の制作を行う		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
特に無し		課題・レポート 出席率	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
情報モラル		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	今野 昌浩

授業の概要

人が情報を扱う上で求められる道德。特に、情報機器や通信ネットワークを通じて社会や他者と情報をやり取りするにあたり、危険を回避し責任ある行動ができるようになるために身に付けるべき基本的な態度や考え方を身につけるよう学ぶ概要。

授業終了時の到達目標

著作権の扱いに関することの理解度を深め、SNSを活用する上で必要とされるマナーを習得。

実務経験有無

実務経験内容

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 主なソーシャルメディアの使い方 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホのマナー ・ソーシャルメディアの活用 ・コミュニケーションアプリの活用
2	主なソーシャルメディアの使い方 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット上のコミュニケーション ・情報の選択と活用 ・情報の信ぴょう性 ・ネットの活用と依存
3	ネット社会での生活(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・位置情報システムの活用 ・画像の共有と発信 ・動画の共有と発信
4	ネット社会での生活(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット上での売買 ・ソーシャルゲーム ・迷惑メッセージ
5	ネット社会での生活(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済 ・不当請求・オンライン詐欺 ・ネット上での誹謗中傷
6	個人情報と知的財産(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報と情報提供 ・個人情報の流出 ・個人情報の保護
7	個人情報と知的財産(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人データの活用 ・文章や画像の利用 ・音楽や映像の利用
8	個人情報と知的財産(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と著作権
9	情報サービスとセキュリティ(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人認証 ・クラウドサービス ・アプリケーションの活用
10	情報サービスとセキュリティ(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピューターウイルス ・アクセス管理と不正アクセス
11	情報サービスとセキュリティ(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルタリング ・無線LANと暗号化

回	テ ー マ	内 容		
12～ 13	著作権	著作権について		
14	試験対策	総括を交えた総復習講義		
15	期末試験	情報モラル総括試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス著作権検定（サーティーファイ）		出席率 課題・レポート 確認テスト	30.0% 40.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Indesign		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	黒田 洋平
授業の概要				
InDesignの機能と基本的な操作を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ InDesignを使用して、さまざまなデザインを制作できる。 ・ 目的に応じてInDesignの機能を使用できる。 ・ 卒業制作展示用の印刷物を作成する。 				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
テキストの予習・復習や、日常で目にする広告やテレビcm等のデザインの参考になるもの観察				
回	テーマ	内容		
1	スマートガイドを使用	スマートガイドやプレーンテキストフレーム、フレームグリッドを活用する		
2	テキストに書式を設定	テキスト入カスペースや改行・段落を使用する		
3	テキストの設定を微調整	字取り・行取りを設定する 段落境界線を設定する		
4	テキストフレームの調整	フレームサイズをテキスト内容に合わせる テキストフレームに段落設定をする		
5	特色を作成	インキを混合したオリジナルカラーをスウォッチに登録する		
6	オブジェクト操作の復習	オブジェクトの作成・複製・操作		
7	ページの基本的操作	ページパネルの使用 マスターページとドキュメントページの使い分け		
8	スタートページの調整	見開き箇所調整 ページサイズの調整		
9	段落スタイルを作成 文字スタイルを作成	文字の段落などのスタイルを再定義		
10	画像の配置と編集	リンク機能を管理する 画像の回り込み機能を設定		
11	illustratorのパスオブジェクトを使用。アルファチャンネルを用いた切り貼り	illustratorのオブジェクトを併用する Photoshopの画像を併用する		

回	テーマ	内 容		
12	Excelの表を読み込む セルとテキストの選択	Excelのファイルを適用してサイズ調整 行や列の調整		
13~ 15	自由制作	これまでの応用でコンペ出展作品を作成する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
教科書:In Design 基礎入門 教材:Adobe InDesign		出席率 実習・実技評価 課題・レポート	30.0% 30.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
卒業制作		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	黒田 洋平
授業の概要				
1年次に学んだ技術や知識の総決算として、広告、パッケージ、Web、PVなどのデザイン作品が制作できる。				
授業終了時の到達目標				
案件の問題点を考察し、解決手段を導き出せる。 設定コンセプトに基いたデザインができる。 ポスター、パッケージ、動画、Webなど目的にあったデザインを制作できる。 作品のポイントをわかりやすくプレゼンテーションできる。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
作品完成までに必要な作業量を逆算し、必要ならば授業時間外にも制作を行う。				
回	テーマ	内容		
1~6	制作テーマ及びコンセプトの決定	修了制作のテーマ決定。 リサーチと問題点の洗い出し。 コンセプトの確立。 制作アイテムの決定。		
7~43	制作作業	ラフデザイン 制作作業 プレゼンテーション準備		
44~45	プレゼンテーション	PRポイントの整理 伝わりやすい資料作成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
特に無し		課題・レポート 出席率	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジネスツール演習		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	23回	4単位(46時間)	必須	黒田 洋平
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・各種ビジネスアプリの連携 ・効果的なアンケートフォームの作成とデータ利用 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・Office、Google workspace、MacApp(Keynote、Pages、Numbers) が連携できる。 ・Google Formでアンケートを制作し、目的に合ったデータ収集ができる。 				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
【準備学習】 前回の授業内容を見直し、次の回に応用できるように準備する。				
回	テーマ	内容		
1~4	GoogleFormsの使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの作成と実施方法 ・データ加工について 		
5~10	Excel・スプレッドシート・Numbersの使い方と連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの特徴 ・データの互換方法 		
11~17	Word・ドキュメント・Pagesの使い方と連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの特徴 ・データの互換方法 		
18~23	PowerPoint・スライド・Keynoteの使い方と連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの特徴 ・データの互換方法 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 課題・レポート	20.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
メディアデザイン I		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	22回	4単位(44時間)	必須	今野 昌浩
授業の概要				
自分が感じたことをどう表現すれば、人により良く伝わるのかを「考える」方法を「メディアデザイン」と呼びます。言い換えると、感動を人や社会に伝える方法を考えるデザインが「メディアデザイン」になる事から表現力の学習を図ります。				
授業終了時の到達目標				
自身の脳内で考えた表現を物理化し、それを第3者まで伝えることができる表現力を身に着ける。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	イントロダクション ビジュアルデザイン定義	現状確認 前期授業における概要説明		
2	アイデア創作について	自分らしい作品を作成するにあたり、必要とされる勤勉方法		
3	創作絵本作成 1) 物語構築について	絵本づくりを通して「ビジュアル」「フォント」「ストーリー構築」を学ぶ		
4~ 7	創作絵本作成 2) キャラ作成-1	ビジュアルの要になるイラスト作成の訓練		
8~ 11	創作絵本作成 3) 構図/背景について	パースの捉え方、色彩設計において		
12~ 14	トリミング/エディタ	ストーリー/キャラ/背景の合成をはかり、PFとして活用できるデジタル絵本の完成を図る		
15~ 16	実技/絵本制作(1)	絵本制作に関する事項として ・ストーリー作成について		
17~ 18	実技/絵本制作(2)	キャラ表作成		
19~ 22	実技/絵本制作(3)	作画/着色/仕上げ作業		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
講師オリジナル教材		出席率 実習・実技評価 課題・レポート	20.0% 20.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
就職実務		グラフィックデザイン学科 /2年	2024/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	黒田 洋平
授業の概要				
就職活動に備えて、就職対策を行う				
授業終了時の到達目標				
電話対応、会社訪問、個人面接、集団面接それぞれの方法を理解し対応できるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
前回の授業内容を踏まえて準備学習する				
回	テーマ	内容		
1	動機付け(広報CC) 会社訪問ロープレ 電話対応ロープレ	会社訪問、電話対応の方法を学ぶ		
2	身だしなみ講座	男女に分かれ、就職活動のための身だしなみを理解する		
3	学科プログラム①	志望動機、自己PRの練習		
4	学科プログラム②	立ち居振る舞い、挨拶の練習		
5	学科プログラム③	30問30答の問答練習		
6	面接ロープレ 学科プログラム	面接試験の流れを理解する 30問30答の問答練習		
7	面接練習①	立ち居振る舞い 自己PR		
8	面接練習②	面接のロープレを行う 多様なドアにも対応する		
9	校内就職セミナー①	校内就職セミナーで企業を知る		
10	校内就職セミナー②	校内就職セミナーで企業を知る		
11	校内就職セミナー③	校内就職セミナーで企業を知る		
12	学科プログラム④	就職に向けての準備作業		
13	学科プログラム⑤	就職に向けての準備作業		
14	学科プログラム⑥	就職に向けての準備作業		

回	テ ー マ	内 容		
15	学科プログラム⑦	就職に向けての準備作業		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	就職の手引き	出席率	100.0%	